

大学スポーツを観戦しよう!!

東洋大学には、現在、スポーツ界で活躍している多くの卒業生がいます。そんな卒業生も過去にはこの東洋大学で、勉強とスポーツに一生懸命打ち込んできました。ここでは大学スポーツをリードしている各クラブを、卒業生の紹介を交えながら見てみようと思います。



陸上競技部（長距離部門）

大学スポーツの花形である箱根駅伝への出場は61回を数え、最高順位は3位の伝統校である。シドニーオリンピック出場の川嶋伸次監督を迎え、昨年11月の全日本大学駅伝では5位、正月の箱根駅伝では6位入賞の成績をおさめた。三本柱の久保田満君（経済4）・三行幸一君（同）・永富和真君（機械工4）が最終学年でどんな走りをするか期待したい。今年1月にニューイヤー駅伝で優勝したコニカの酒井選手・小澤選手など多くの東洋大出身ランナーが、社会人になってからも活躍している。

レスリング部

96キロ級全日本チャンピオンの中尾選手を輩出しているレスリング部は、現在東日本学生レスリングに加盟。5月には駒沢体育館でリーグ戦が行われる。内閣総理大臣杯全日本大学選手権で2位を取ったこともある60キロ級の中橋裕樹主将（日本文4）が、ポイントゲッターとしてチームを引っ張っている。

相撲部

昨年、個人戦では東洋大初の学生横綱が誕生し、団体戦でも2度目の全国優勝を果たすなど活躍が著しい相撲部。昨年優勝した団体戦のメンバーが4人残っており、2連覇に期待がかかる。全国学生相撲選手権は11月に両国国技館で開催される。大相撲でも玉乃島、玉の国ら東洋大出身の力士が活躍している。



柔道部

昨年は全日本学生柔道優勝大会でベスト16、その他の大会でもベスト8止まりであった。今年は主力選手がほぼ残っており、全ての団体戦でベスト4以上が目標である。5・6月と日本武道館で大会が開かれる。ベトナム国際大会100キロ級で優勝した新垣信成君（マーケティング3）に注目である。

ラグビー部

関東大学リーグ戦グループに所属しているラグビー部は、現在2部に甘んじている。ここ数年、低迷が続いているが、選手一同「1部復帰」を合言葉に激しい練習に励んでいる。9月下旬から熊谷ラグビー場等でリーグ戦が行われる。



硬式野球部

東都大学リーグ1部に所属しており、明治神宮球場で試合を行っている。春季・秋季リーグ戦で通算9度の優勝を数え、プロ野球で活躍する巨人の清水選手、阪神の松山選手・今岡選手などを輩出している。今年も全日本に選ばれたキャプテンの岩館学内野手（商4）、一番打者の早川辰徳外野手（同）がプロに注目されており、5季ぶりの優勝も期待できる。

サッカー部

昨年、東洋大初のJリーガー大宮アルディージャの関選手（平成15年3月経営卒）を輩出したサッカー部は、東京都大学サッカーリーグ1部に所属し、関東大学リーグ2部昇格に燃えている。8月下旬からリーグ戦が板倉町営グラウンド等で開幕する。主将の小林靖典君（経営4）、CFの高部聖君（経営3）はJリーグのスカウトも注目。

アイススケート部（ホッケー部門）

氷上の格闘技といわれるアイスホッケー。平成9年～12年のインカレで6連覇したが、この2年間はベスト8止まりと不本意なシーズンが続いている。4月から行われる関東大学アイスホッケー選手権大会では、ユニバーシアード日本代表の瀬高哲雄君（社会福祉4）今政則君（社会4）を中心に勢いを付けたいところである。東伏見アイスアリーナへ行けば、アイスホッケーのスピードに驚くはずだ。

アイススケート部（フィギュア部門）

アイススケートの華フィギュアスケート。昨年はインカレで女子総合優勝をはじめ、今後も活躍が期待されている。特に、長谷部文さん（社会心理3）はフリースケーティング個人で優勝したこともあり、華麗な演技は必見である。

